

マレーシア・サラワク州でのグリーン水素・MCH製造検討

(実施期間：2019～)

技術テーマ区分番号：⑦、⑧

主な実施場所：マレーシア・サラワク州

取組活動の内容

事業目的・概要

- 経緯・背景など
2019年より、マレーシア・サラワク州投資機関であるSEDCと共にグリーン水素製造Pre-F/Sを開始している。同州の競争力のある水力発電を利用することで、競争力のあるグリーン水素を安定確保出来る見込みが高いこと、弊社既存事業を通じた同州政府との関係、及び水素事業開発への同州政府の政策が先行していることからプロジェクトの有望地として特定している。20年10月にENEOS様も検討に参画しMCH(メチルシクロヘキサン)による輸送検討を開始している。
- 方針・アプローチなど
20年代後半に地産地消の水素製造と同地での水素利活用事業構築を目指す。その後生産量を拡大し、数万トン/年規模の水素製造・日本への輸出を目指す。
- 期待される効果・今後の課題や展開など
本プロジェクトの実現により、日本への大規模水素供給スキームの確立と、商業ベースでのMCH活用プロジェクトの創出が可能となる。水素及びMCH製造設備、輸送など各バリューチェーンでのコスト削減・操業効率化を図る。

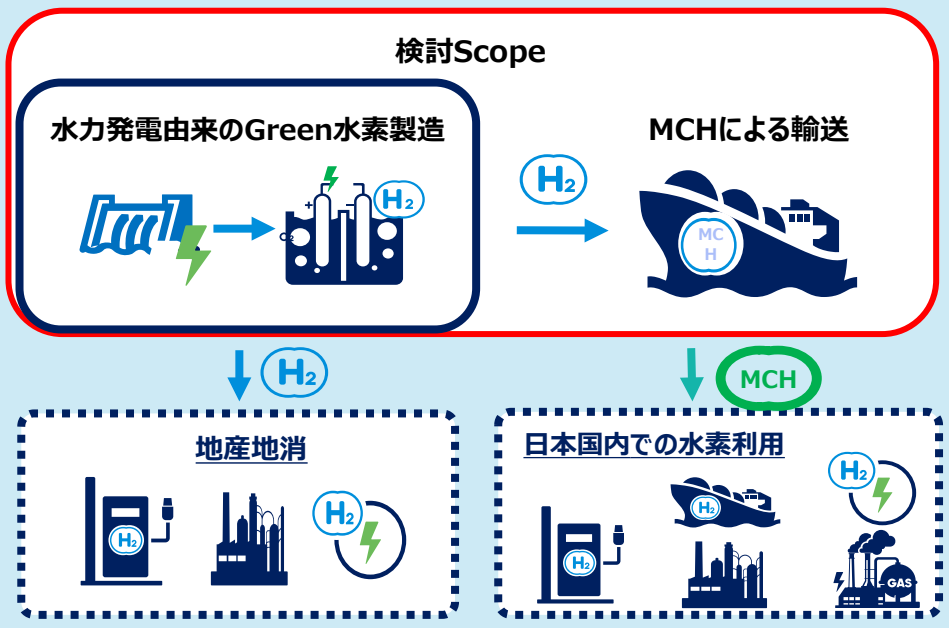
連携実施者

- ENEOS：MCH技術供与
- SEDC (Sarawak Economic Development Corporation)：用地・電源供給

関連外部リンク先

- [ENEOS プレスリリース 20201023_01_2011051.pdf \(eneos.co.jp\)](#)

イメージ図



図：プロジェクト全体スキーム
(赤枠内 共同検討スコップ、点線枠内は共同検討の対象外)